

# 救急医療情報の活用に係る 関係者間の事前協議の推進

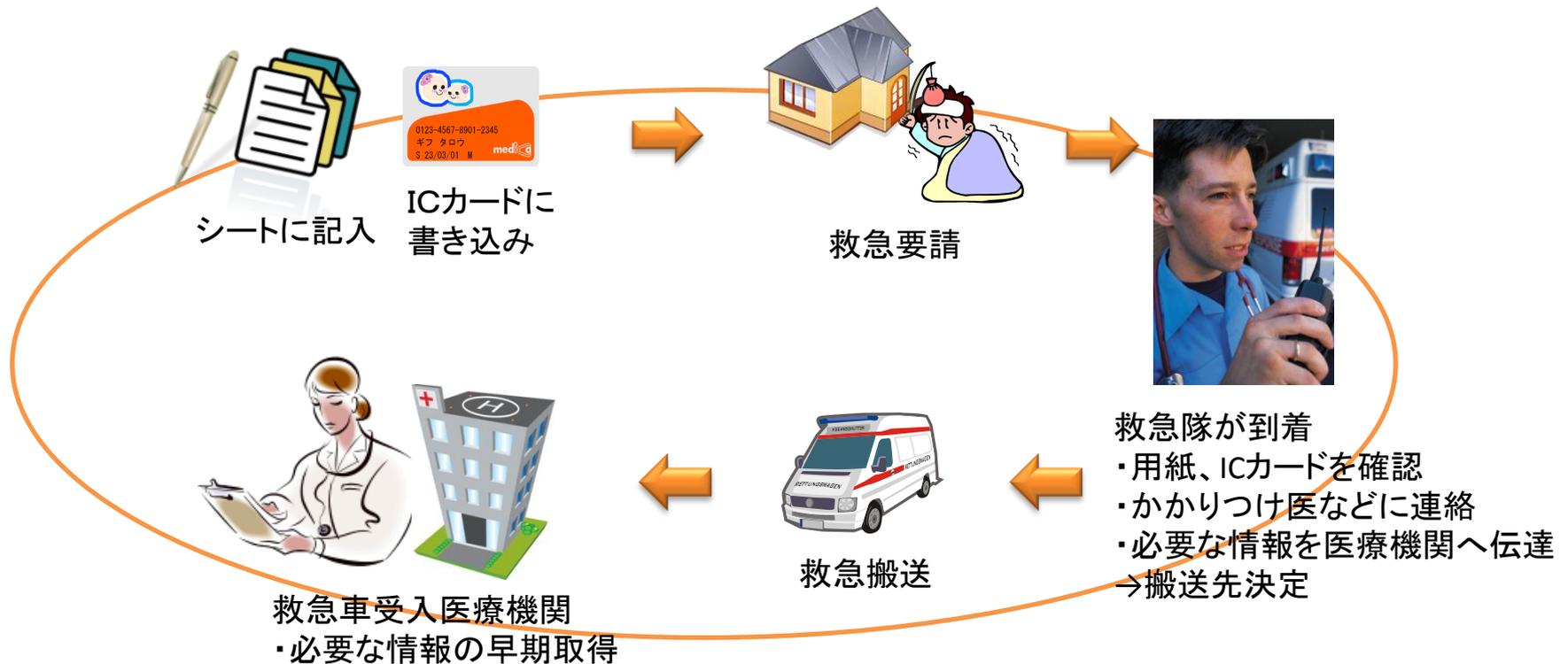
—救急医療情報キット等の活用—

# 救急医療情報

- 各地域において、「救急医療情報キット」や「ICカード」などが活用されている。

## 救急医療情報とは？

救急医療で適切な対応ができるように、必要な情報(氏名、生年月日、治療中の病気、服用している薬、かかりつけ医療機関、緊急連絡先、医師に伝えたいこと、等)を記入しておき、救急搬送時に役立つもの。



# 救急医療情報キット

## 港区の例



- 米オレゴン州ポートランド市を参考に全国で初めて実施。
  - 平成20年5月から配布開始。
  - 平成24年4月時点で高齢者へのキット配布率は12.3%
- 「救急医療情報キット」として筒状のケースに情報を入れ、冷蔵庫に保管。
  - ①救急情報、②写真、③健康保険証(写)、④診察券(写)、⑤薬剤情報提供書・お薬手帳(写)を挿入。
  - キットが入っていることが分かるように玄関ドア内側と冷蔵庫に貼付するシンボルマークも配布。



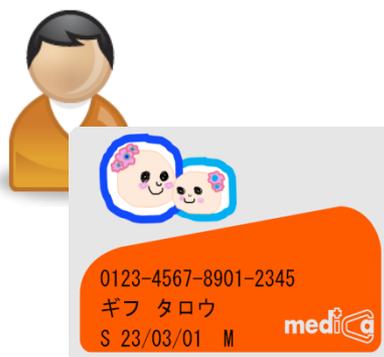
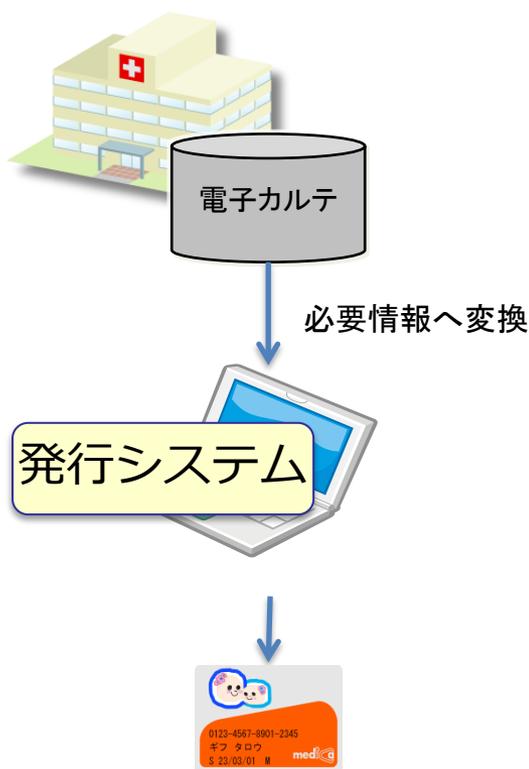
・全国の自治体に取り組みが波及している。

# ICカードによる救急医療情報の活用

## 岐阜大学の例

### ■MEDICAは患者情報を連携するためのシステム(知的財産権は岐阜大学)

- ✓ ICカードには救急医療に必要な患者情報および医療情報が書き込まれている。
- ✓ 病院でICカードに書き込み、病院および救急隊員の持つ専用端末でしか読めない。
- ✓ 岐阜県で2009年より運用し、約11,000枚(2012年11月現在)が発行されている。



ID番号  
氏名、住所、電話番号  
生年月日、血液型  
既往歴、投薬、アレルギー  
感染症、特記事項  
診療情報など



ファルコン  
(救急隊員端末)

2012年3月に岐阜県下  
すべての救急車に搭載

○MEDICA保有者では、救急  
隊の現場滞在時間が減少し  
ている。

病院で書き込み

常時携帯

救急車で読み取り

# 連携を踏まえた救急医療情報の活用①

## 八王子市の例

○高齢者及び高齢者施設等の利用者への安全な救急搬送体制を確保するため、八王子消防署と八王子市救急業務連絡協議会で調整、“八王子高齢者救急医療体制広域連絡会”を設置。



### 八王子高齢者救急医療体制 広域連絡会

- ・八王子市救急業務連絡協議会会員(14医療機関)
- ・救命救急センター長
- ・療養型病院長(12医療機関)
- ・八王子施設長会(67施設)
- ・八王子社会福祉法人代表者会(10施設)
- ・精神科病院長(15医療機関)
- ・八王子介護支援専門員事業所連絡協議会
- ・八王子介護保険サービス事業者連絡協議会
- ・八王子医師会代表者
- ・八王子市
- ・町会自治会連合会
- ・八王子消防署

※行政だけでなく、様々な機関が参加していることが特徴。

#### 【検討項目】

- ・高齢傷病者の急性期医療に対する搬送システム及び早期受入体制の確立
- ・高齢傷病者の慢性期医療の対応、施設在宅における支援体制について
- ・本会参画機関の連携強化
- ・提携医療機関の連携強化
- ・参画機関職員の技能維持向上
- ・救命講習等の普及推進
- ・高齢者の事故防止対策及び救急車の有効活用の創造

自宅、高齢者施設、救急隊、急性期医療機関、慢性期医療機関、市のそれぞれについて推奨事項や努力事項が示された。

このうち、「**自宅/高齢者施設**」の推奨事項として、「**救急医療情報の作成**」を行うこととなった。

# 連携を踏まえた救急医療情報の活用②

(八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会)

## 八王子市の例

### ○「救急医療情報」

“もしも”の際に、救急隊員に服用中の薬やかかりつけの医療機関、連絡先などを伝えるもの。

### ○ 連絡会における連携

各機関における課題が明確化し、各機関間で問題意識が共有された。



高齢者施設での試行段階では、現着～現発が27秒、病着～医師引継が2分38秒短縮したという効果があった。



- ・市内で65歳以上の高齢者がいる家庭を中心に「救急医療情報」を30万枚配布。
- ・今後は市内の全世帯に配布し、災害(震災)発生時においても救急医療情報を活用、円滑な連携について検討をしている。

住 所	八王子市 元本郷 町 三丁目 24番 1号	
ふりがな	はちおうじ ななお	年齢 70歳
氏 名	八 王 子 七 男	(平成24年 8月 10日現在)
生年月日	明治・大正・昭和 17年 1月 1日	
性 別	男・女	
連絡先電話番号	042-626-●●●● (自宅) 090-●●●●-●●●● (妻の携帯)	同居のご家族がいらっしゃる場合 ご記入ください。

### ◇医療情報

現在治療中の病気	高血圧、糖尿病・心臓病・脳卒中・その他 (血圧 (185/110))
過去に医師から言われた病気	・高脂血症
服用している薬	カルベジロール製剤 10mg フロココール製剤 10mg
かかりつけの病院	病 院 名：八王子消防病院 ※おおむね1年以内に受診歴のある病院 住 所：八王子 市・区 大横町●-● 電話番号：

もしもの時に医師に伝えたい事があれば「□」の中にチェックして下さい

<input type="checkbox"/> できるだけ救命、延命をしてほしい	伝えたいことがある方は、該当するものを○するか、その他欄に希望することをご記入ください。
<input type="checkbox"/> 苦痛をやわらげる処置なら希望する	
<input type="checkbox"/> なるべく自然な状態で見守ってほしい	
<input type="checkbox"/> その他 ( )	

なるべく複数の連絡先をご記入いただき、電話は連絡が付きやすい番号をご記入ください。

### ◇緊急連絡先

氏 名	続柄	住 所	電話番号
八王子 六男	子	八王子市●●●町1-1-1	080-1111-●●●●
日野 五子	子	日野市●●●町1-2-3	090-0000-●●●●

作成日	平成 24年 8月 10日	更新日①	平成 24年 9月 1日
更新日②	平成 年 月 日	更新日③	平成 年 月 日
更新日④	平成 年 月 日	更新日⑤	平成 年 月 日

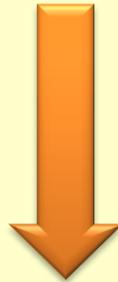
### ◇地域包括支援センター

地域包括名称	電 話 番 号
担 当 者 名	

# まとめと論点

## (まとめ)

- 地域において様々な救急医療情報の活用が行われており、救急医療情報キット等は、比較的安価に取り組む事が可能なツールである。
- このツールの活用により、救急搬送時間の短縮等が期待される。



効果を上げるためには・・・

## (課題・論点)

- 普及率の向上と情報の適時更新が必要。
- 自治体等の個別の取組だけでなく、救急医療情報に関わる者（地域住民、行政機関、消防機関、医療機関、介護・福祉施設等）の連携が重要となる。